

# 令和2年度地域懇談会中止に伴う 馬路町要望事項について(要望事項・回答事項)

馬路町では、本年度は、コロナウイルス禍を受けて、市長をはじめ理事者との直接懇談会  
の場は持たず、文書要望・文書回答と言う形で行いました。主な要望事項及び回答の報告を  
します。なお、何点かは、再要望をしていくこととします。

## < 要望・意見・質問内容 >

【要望1】市道池尻・宇津根線拡幅改修工事(馬路地内)  
に伴う生活環境整備について

- ①グリーンベルト地帯(約150㎡)の整備内容とその後の管理について
- ②七谷川改修工事車両の専用迂回路確保について
- ③交差点信号機(点滅可)の設置について



市道と府道の交差点

【要望2】

府内第1号の公立義務教育学校「亀岡川東学園」に関  
わって

- ①通学可能校区を市内一円とする制度設計を早急に
- ②川東保育所に通園する川東4町以外の3割もの  
卒園生が入学できる制度設計を早急に。  
就学前教育から義務教育までの(0歳から15歳)  
一貫教育体制の確立(全国でも例がない)

【要望3】市道池尻・宇津根線側面用排水路の部分改  
修工事について

- ①余水吐け水路への  
分岐工事について



白○部分に水路の分岐拡張工事場所

【要望4】

丹波ニュー風土記の里整備構想の具現化を亀岡観光振  
興の中核に位置付け推進する考えは

- ①「霧の芸術祭」「千代川新乗船場・舟運記念館等」  
との連携する考えは。
- ②本構想の具現化に対する市の見解は
- ③史跡丹波国分寺跡の駐車場利用について

【要望5】①ジャンボタニシ駆除対策支援について



食害された水面 ジャンボタニシ9月の成長 ジャンボタニシの卵

## < 回答等 >

《要望1の回答》

- ①大きな残地部を単純な歩道空間とするの  
ではなく、来訪者にも地元の方にも憩い  
が得られる緑地整備とする考え。整備方  
法等については、後の管理方法も含めて  
自治会と協議を行い取り組む。
- ②道路改良工事と七谷川改修工事両方とも円  
滑に進められるように京都府と調整する。
- ③基本的には、現在と同様の一旦停止によ  
る交通規制を考えている。各道路改良工  
事が完了し、交通事情が変化した場合に  
は警察と再度協議を行う。

《要望2の回答》

- ①②児童生徒数の動向を踏まえ検討する。  
※要望主旨の取り違いにより議論がかみ合  
わず、再要望する。

《要望3の回答》

- ①農林水産省による農業水路等長寿命化・  
防災減災事業の補助金による事業化は、  
当該水路が排水路のみということで困難。  
※防災減災につながることから再度要望  
する。

《要望4の回答》

- ①②③：本構想が30年を経過する中、事業  
進捗の遅れ、社会的環境の更なる変化  
を受けて、計画の抜本的な見直しを文  
化庁から指示をされている。駐車場の  
整備も含めて文化財を活かした計画の  
策定に、今年度から国庫補助金を受け  
て進めている。

《要望5の回答》

- ①人件費や薬剤費等にかかる費用について  
は、多面的機能支払交付金での対処が  
一定の要件を見たすことにより使用可能。

## 防犯馬路支部知事表彰受賞

平成6年4月に警察・駐在所と連携・協力して、安  
全で安心して暮らせるまちづくりを目指して、防犯推  
進組織を結成。毎月2回の青パトによる見回り巡回、  
また年末あるいは各種行事における警戒、振り込めサ  
ギ防止の呼びかけ等、長年の活動が高く評価され、京  
都府知事から「京都府防犯まちづくり賞」という名誉  
ある表彰を受けられました。

亀岡市防犯推進連絡協議会馬路支部は、本協議会  
のリーダー的な活動を日々展開されていますが、特  
筆すべきことは、組織構成員(現在男10名、女5名)  
がいずれも継続して活動をされていること。加えて、  
組織の硬直化を防ぐために常に新しい人材の確保等、  
チームワークが抜群なところがあります。

堤輝明支部長は、「『青パトが町内まわる幸せを』  
の思いの下、今回の受賞に恥じないよう、住んで良  
かった、住みたくなる馬路町のまちづくりに、今後  
ともみんなで仲良く頑張っていきたい」と決意を新  
たにされていました。



## コロナウイルス禍の中での避難所開設研修会

コロナウイルス禍が進む中、台風襲来等による  
災害に伴う避難所開設となった場合の、感染防止  
対策を踏まえた備えについての研修会が、7月27日  
に防災関係者を対象に、「ガレリアかめおか」で  
開催されました。

馬路町からは、畑一人副会長、堤邦尋自主防会  
長、中澤敏次民生児童委員が参加。ウイルスに感  
染している避難者の受け入れを想定して、避難所  
の設営・運営の仕方、避難者の受け入れ要領、健  
康観察、発熱などの症状がみられる避難者への対  
応等について研修を受けました。有事の際の迅速  
な避難所開設・運営に活かしたいと思います。



災害時 指定避難所



2020/07/27

## (新型コロナウイルスと共生した行事開催・事業推進の有り方) コロナ対策を考慮した中での自治会行事 等開催に向けた研修会

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、  
各種行事の自粛を余儀なくされていますが、再開  
を検討する上での感染予防に対する様々な留意  
事項について、亀岡市の保健師・亀岡市社会福祉  
協議会の担当者から、  
7月16日(木)馬路生  
涯学習センター2階  
ホールで説明を受けま  
した。



## 65歳以上家族台帳作成と有事の際の 安否確認・避難誘導体制の確立

馬路町内に住む高齢者世帯(65歳以上の夫婦・  
独居・同居の世帯)に対し、地震・風水害等の自  
然災害、火災等の有事の際における安否確認・  
避難誘導等を迅速・円滑に行うためには、その対  
象者の現状をしっかりと把握しておく必要があり  
ます。そのためには対象者の詳細な実態把握に  
基づく家族台帳を整備しておくこととします。

今年度65歳以上になられる人を対象に、有事  
の際の家族等の連絡先、避難の際、自力で動け  
るのか否か等の身体的な留意点等、より詳細な  
事について、本人様への直接の問い合わせ等  
による補完作業を、自治会議員・正副区長・隣組長・  
民生児童委員の皆様と協働して実施します。

## 法人格を持った新営農組織設立準備委員会発足

農業従事者の高齢化、農業担い手不足等、農  
業を取り巻く環境が年々厳しくなる中、馬路町  
における持続可能な農業・農村環境の保全・継承・  
発展を期していくためには、現在、関係者の努  
力によりギリギリ機能している営農組合組織及  
び農作業受託組合(任意の組合組織であること  
から、税制上も補助金上も維持するには限界が  
見えてきた)を、発展的に解消し法人格を持った、  
即ち、それぞれ一般社団法人(非営利団体)あ  
るいは株式会社(営利団体)とする新たな組織  
体制の確立を目指すこととして、準備委員会を  
立ち上げ鋭意協議中であります。

基本方針がまとまり次  
第、全農地所有者を対象  
に説明会を行い、多くの  
賛同者が得られれば、肅々  
と新組織の設立に向けて  
取り組んで参る所存であ  
ります。



馬路大納言小豆